

自治ひろこ

1652号

2024. 6. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎・編集人/秦 信昭

当面の日程

- 8日 町職連協若手組合員交流会 (明石市・大蔵海岸 BBQ ZAZAZA)
- 8日 社協関係労組交流会 (県本部/ウェブ)
- 9日 保育を考えるつどい (ひょうご共済会館)
- 9日 県パートユニオ定期総会・パートフォーラム (神戸市立中央区文化センター)
- 11日 県本部労働安全衛生集会 (ひょうご共済会館)
- 14~16日 自治労青年女性中央大交流会 (山梨県)
- 15日 ひょうご労働安全衛生センター総会 (神戸市立中央区文化センター)

発行 全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp



自治労カップ少年野球大会

多くの協賛に感謝

総勢68チームが熱戦を繰り広げる

県本部は青少年育成支援活動として、兵庫県軟式野球連盟と提携し、自治労カップ野球大会の運営を支援しており、4月27日から5月5日にかけて開催された大会へは、各地区予選を勝ち進んだ少年(中学生)36チーム、学童(小学生)32チームが出席。少年の部では伊丹市の松崎中学校が、学童の部では尼崎市の北ナニワハヤテタイガースがそれぞれ優勝し、兵庫県代表として近畿



講演を行う那須事務局長

反「行革」組織集会

組合員に共感を得る活動を

各単組の課題や問題意識を共有

県本部は5月24、25日に57人の参加のもと、加西市で反「行革」組織集会を開催した。山下忠之委員長は「集会では各単組の課題や問題意識を共有し、運動の強化や組織拡大に向けて、一歩前へ進むための議論を行ってほしい」とあいさつした。連合兵庫の那須建事務局長より、出身単組である関西電労組の取り組みについて「組合活動の活性化は永遠の課題。組合は必要としないながらも、自ら積極的に関わ

ることを避けたいという組合員が増えている。多様な組合員の意見や考え方は様々であり、組合員の共感を得る活動を模索している」とし「安心して働ける職場をめざし、働く者の視点に立つて経営チェック機能を果たしていく」との講演を受けた。八鹿病院職組の浅田朋子委員長から「コロナ禍により、人と人のつながりが希薄になった。改めて組合員の交流の場を作っていく」とまた、淡路市職労の長田圭介書記次長は「会計年度の

未加入者への加入呼びかけを行い、新規加入があった。更なる組織拡大をめざす」との単組報告がされた。分散会では、「専門職は募集しても応募がない」「若年層における年度途中の退職が増えている」などの意見が出され、「職員の安全安心のため、安全衛生委員会を活用し、委員会へ労働組合が積極的に関与する重要性を改めて認識してほしい」とまとめた。

2024自治労カップ協賛団体

- 兵庫県職員労働組合/神戸市職員労働組合/神戸市従業員労働組合/神戸交通労働組合/尼崎市職員労働組合/西宮市水道労働組合/伊丹市水道労働組合/市立伊丹病院労働組合/猪名川町職員組合/宝塚市職員労働組合/三田市職員労働組合/淡路市職員労働組合/洲本市職員労働組合/南あわじ市職員労働組合/明石市職員労働組合/小野市役所野球部/加東市労働組合連合/加西市職員組合/姫路市職員組合/姫路市水道労働組合/たつの市職員組合/宍粟市職員労働組合/相生市職員労働組合連合/赤穂市自治団体労働組合連合/西脇市労働組合連合/稲美町職員組合/播磨町職員組合/多可町職員組合/神戸町職員組合/神戸町役場野球部/佐用町職員組合/豊岡市職員労働組合/公立豊岡病院組合労働組合/公立八鹿病院職員組合/丹波市職員労働組合/丹波市役所野球部/丹波篠山市職員労働組合/自治労兵庫県本部直属支部/明治安田生命/自治労共済/市町村共済



全国から600人が結集

人員確保闘争に結集を

賃金・労働条件の向上で選ばれる職場に

全国町村評は5月24日、東京・日比谷野音で第44回全国町村職総決起集会を開催。全国から46県本部600人(兵庫から8人)が参

加した。例年は2月に開催されていたが、町村職場の人員不足問題を重点課題とし、今年から6月の人員確保闘争に向け、この時期に開催されることとなった。主催者を代表して全国町村評の宮脇卓也議長は「私が入庁した頃は、人員にまだ余裕があり、先輩からいろいろと教えてもらったものだが、今の職場では新人職員に教える余裕もなく、1人で複数業務をこなして

いる状況だ」と人員が増えない状況を変えていかねばならないと強く訴えた。自治労本部を代表してあいさつを行った石上千博中央執行委員長は「人員不足で何とか職場をまわしているのは、職員の献身であり、やりがいの搾取ではないか」と人員確保に各町村職が重点課題として大きく前進させて行こう述べた。集会後は、デモ・請願行動を実施し、町村職の現状を訴えた。

今回検察の摘発する金額の判断基準は3千万円といわれる。コピーの量を多く注いだ校長は、ワンコイン以下でクビ。他方、国会議員は政治資金報告書に記載せず、裏金を繰り返しても摘発は3千万円以上。泥棒が盗んだものを返しても犯罪。しかし、政治資金報告書は修正すればチャラになる。日本という国は、与党の国会議員にとって天国である。退職金がないのがせめてもの救いか?

丹波篠山市議選

激戦を制し初当選

元市職労委員長の野々村さん

4月21日に投票された丹波篠山市議会議員選挙は、定数18に対し25人が立候補する激戦となった。県本部は新人で元丹波篠山市職労委員長の野々村康さんを推薦決定し、篠山市職労を中心に選挙戦を取り組み、野々村さんは747票を獲得し、12位で見事初



祝福される野々村さん

当選を果たした。なお、もう一人の県本部推薦候補であった川崎律子さんは体調不良により、直前に立候補を断念した。

をカップに入れることを7回行ったという。この不正による差額の合計は、490円。これで彼は数千万円の退職金を失った。不起訴処分となったが、禁固刑に

しこう

コンビニのセルフ式コピーで、支払った金額よりも多くの量を注ぐ不正を行った中学校の校長が懲戒免職処分された。レギュラーサイズ110円を注文し、ラージサイズ180円の量を注いだ。この不正

いまいち座



吉田ノボ

高校時代から政治に関心を持った

県本部書記の紹介 瀧本翔太さん



4月から県本部書記として採用された瀧本翔太さん。今年の3月に大学を

卒業し県本部で働きはじめた。県本部では財政局、青年部、文化スポーツ、国民

運動など担当。大学を卒業して社会人になりたての瀧本さん。大学では経済学を専攻し、国際経済や国際貿易などを学んだがIT系は不得意。「今、考えるとIT系も学べば良かった」と話す。県本部への就職のきっかけについては「高校時代に見たSNSで立憲民主党の枝野議員の演説を見て、政治に関心を持つようになり、大学時代には県本部組織内議員の支援を行ったこ

とで自治労兵庫県本部に就職しようと思った」と語ってくれた。また「労働組合は働く人の処遇改善へのイメージがあり、非常に大事なこと」とも話してくれた。趣味は旅行とスポーツ観戦。特にサッカーが好きでスタジアムまで応援に行っている。また感情の差が激しいので、顔に出やすいです」とのことだった。

日に行われ、県本部からも2人が参加した。5月17日は、那覇市内の対馬丸記念館や戦跡などをめぐり、沖縄戦の実相に触れた。18日は、米軍普天間飛行場を抱える沖縄県宜野湾市で平和行進をスタート。全国から集まった2300人が軍事拠点の集中に「NO」を掲げ、復帰前の米国統治時代から県民が願っている「基地のない平和な島」の実現を呼びかけた。

古新基地建設反対をはじめとする平和な島沖縄への決意が力強く示された。また、韓国基地平和ネットワークからも16人が参加し連帯のあいさつを受けた。最後に平和な沖縄を勝ち取るためたたかい続ける決意を固め、団結がんばろうで終了した。



プラカードを掲げ改憲阻止をアピール

5月3日、神戸市みなとのもり公園で「戦争させない、9条壊すな！5・3兵庫憲法集会」が開催され、全体で5千人、各単組から200人が参加した。集会では、羽柴修弁護士が「今、私達は始まってしまった戦争はなかなか止められない事を目の当たりにしている。岸田首相は統合指令部を設けると明言した。この集会は平和憲法を守り、戦争をさせない運動に絞って皆さんと共に頑張っていく」と主催者あいさつを行った。

の内田樹さんによるメイン講演では「今年はアメリカの大統領選挙があるが、前回の大統領選挙後のトランプ派による連邦議会襲撃事件でアメリカの民主主義指数は下落した。バイデンが当選したら内戦のリスクが高まると言われている。国際秩序が保たれなくなった時今までのやり方では憲法は守れない。戦争を止めることもできない。今こそ政権交代をし、日本の安全保障をどうするか、英知を集めてみませんか。私達が求める日本の輪郭を、ハッキリした解像度

の高いイメージで国民的な議論を行い、合意形成していくべきだ」と力強く訴えた。その後、「平和憲法を守れ！」「命と人権を守れ！」「ガザに平和を！」などのシュプレヒコールを上げながら三ノ宮をパレードし、結果した参加者の思いを市民へアピールした。

平和行進 諦めないことが勝つこと 基地のない平和な島の実現へ

日本復帰から52年を迎えた沖縄の現状を訴える「5・15平和行進」が5月17〜18日に行われ、県本部からも2人が参加した。



反基地を訴える参加者

兵庫憲法集会

国際秩序の崩壊で平和憲法が危機に

安全保障のあり方を国民的議論で

反核平和の火リレー 6月3日に県庁前をスタート

反核平和の火リレーは、6月3日に県庁前をスタートし、兵庫県内各地をリレーし、6月13日に最終目的地の西宮市役所に到着予定。各庁舎前ではミニ集会も企画されており、各地区実行委員会からの参加呼びかけに込めよう。(以下、町役場・市役所標記は省略)

6/3(月)	県庁前～神戸市北区役所～南あわじ
6/4(火)	南あわじ～県洲本総合庁舎～洲本～淡路～稲美
6/5(水)	稲美～播磨～加古川～県加古川総合庁舎～高砂～県姫路総合庁舎～姫路～太子～たつの
6/6(木)	たつの～県龍野総合庁舎～相生～赤穂～上郡～県西播磨総合庁舎～佐用～南光支所～宍粟～福崎
6/7(金)	福崎～市川～神河～朝来～養父土木事務所～養父～新温泉
6/10(月)	新温泉～香美～豊岡年金事務所～豊岡～丹波
6/11(火)	丹波～県柏原総合庁舎～丹波篠山～西脇～多可～加西～県社総合庁舎
6/12(水)	JR社町駅～県社総合庁舎～加東～三木～三田～猪名川
6/13(木)	猪名川町保健センター～猪名川～川西～伊丹病院～伊丹～西宮

自治体職員の交通事故に大きな力を発揮する

交通安全による、まさかの失職に備えを!

公務員は交通事故を起こしたことにより、失職することがあります。一瞬の不注意であっても過失の罪を問われて職を失うのです。この場合、懲戒免職と同様に、退職金は支払われない場合がほとんどです。このような事態を防ぐために、じちろうマイカー共済があります!

じちろうマイカー共済

自動車総合補償共済

まさか自分が、事故を起こすなんて...

ご不明な点があれば、まずは所属の組合にご連絡ください。